

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日

株式会社ゼネテック

証券コード：4492



目次

- ① 2027年3月期 第1四半期 決算サマリー
- ② 2027年3月期 第1四半期 セグメント別の状況
- ③ 2027年3月期 財政状態・業績予想・株主還元
- ④ トピックス
- ⑤ 当社事業のご紹介
- ⑥ 会社概要

2027年3月期 第1四半期 決算サマリー

2027年3月期 第1四半期 決算サマリー

決算 ポイント

- SS事業は好調ながら、ES事業が奮わず
- 販管費増で営業減益、償却費増でEBITDA向上

注) SS事業：システムソリューション事業 ES事業：エンジニアリングソリューション事業

売上高	2,535百万円	前年同期比	+48百万円	+2.0%
-----	----------	-------	--------	-------

営業利益	20百万円	前年同期比	△6百万円	△24.0%
------	-------	-------	-------	--------

営業利益率	0.8%	前年同期比	△0.3p	
-------	------	-------	-------	--

親会社株主に帰属する 四半期純利益	4百万円	前年同期比	△17百万円	△80.7%
----------------------	------	-------	--------	--------

EBITDA ^(※1)	90百万円	前年同期比	+8百万円	+10.5%
------------------------	-------	-------	-------	--------

EBITDA率 ^(※2)	3.6%	前年同期比	+0.3p	
-------------------------	------	-------	-------	--

※1 EBITDA：営業利益+減価償却費+のれん償却 ※2 EBITDA率：EBITDA/売上高（EBITDAマージン）

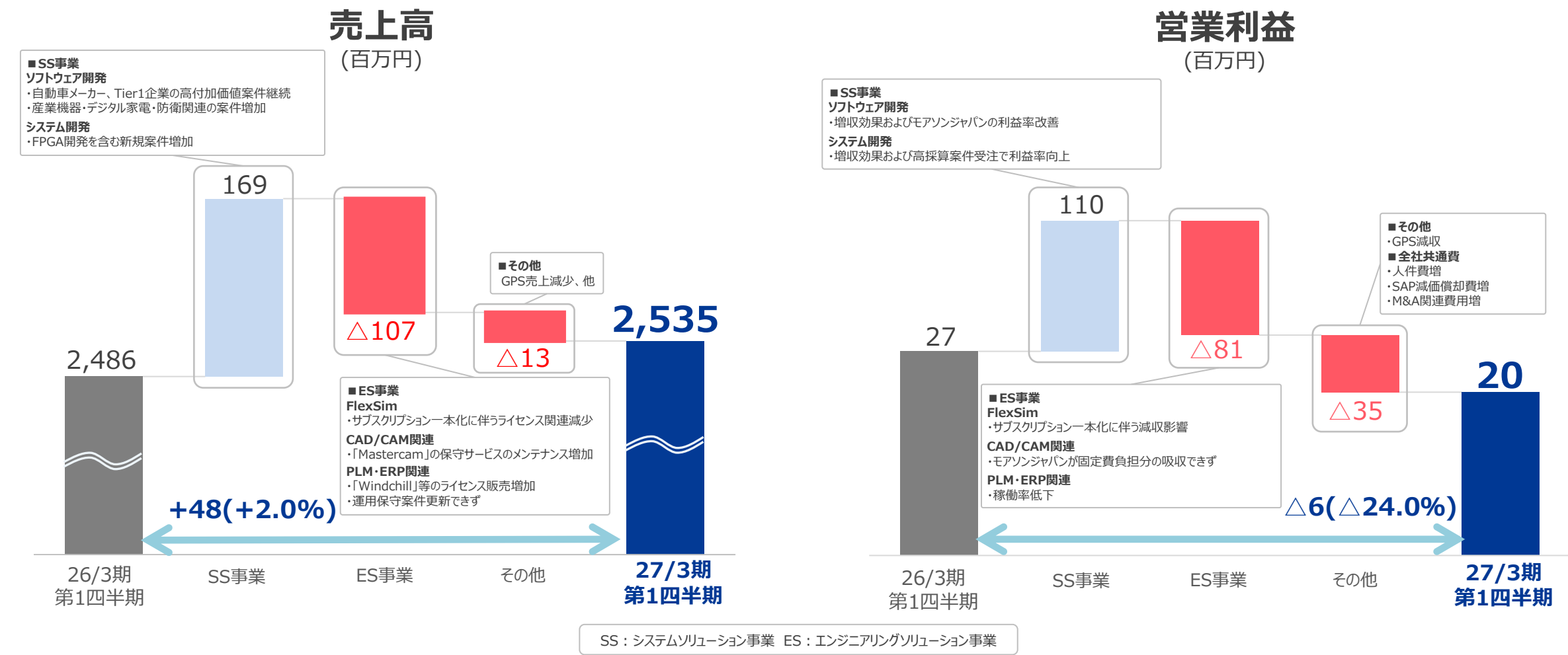
※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2027年3月期 第1四半期 決算概要

(金額単位：百万円)	2026年3月期 第1四半期実績		2027年3月期 第1四半期実績		前年同期比	
	売上比		売上比		増減額	増減率
売上高	2,486	100.0%	2,535	100.0%	+48	+2.0%
売上総利益	923	37.1%	952	37.6%	+28	+3.1%
営業利益	27	1.1%	20	0.8%	△6	△24.0%
経常利益	40	1.6%	18	0.7%	△21	△53.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	0.9%	4	0.2%	△17	△80.7%

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

売上高・営業利益の増減要因（前年同期比較）

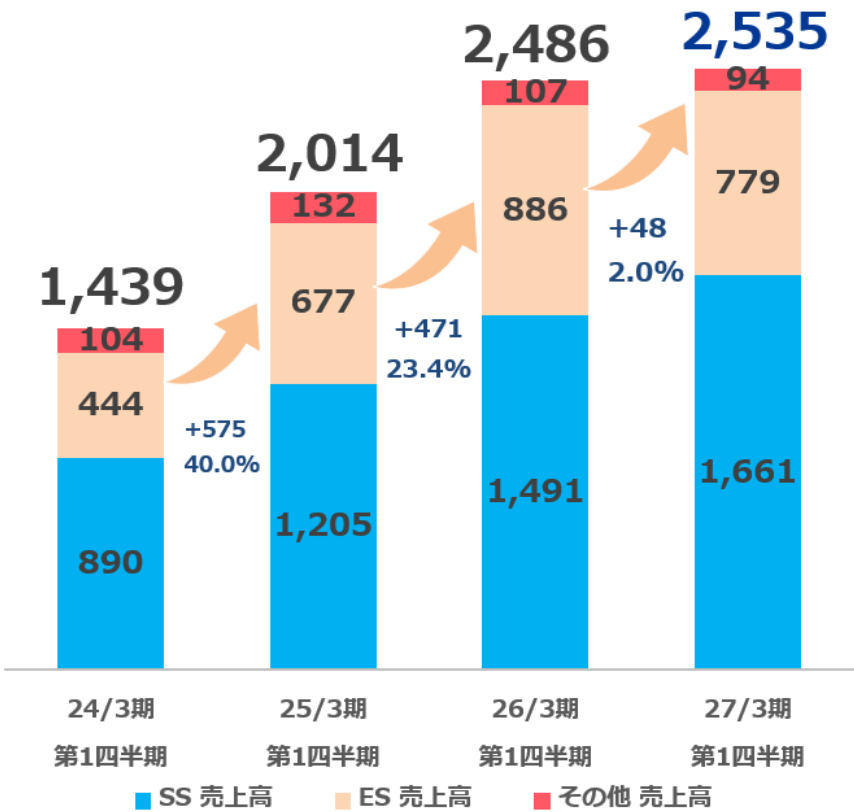


※2027年3月期第1四半期から、GPS事業を調整額と合算し「その他」に変更するセグメント変更に伴い、組換え後の金額に更新しております。
※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2024年3月期～2027年3月期 セグメント別 第1四半期業績推移

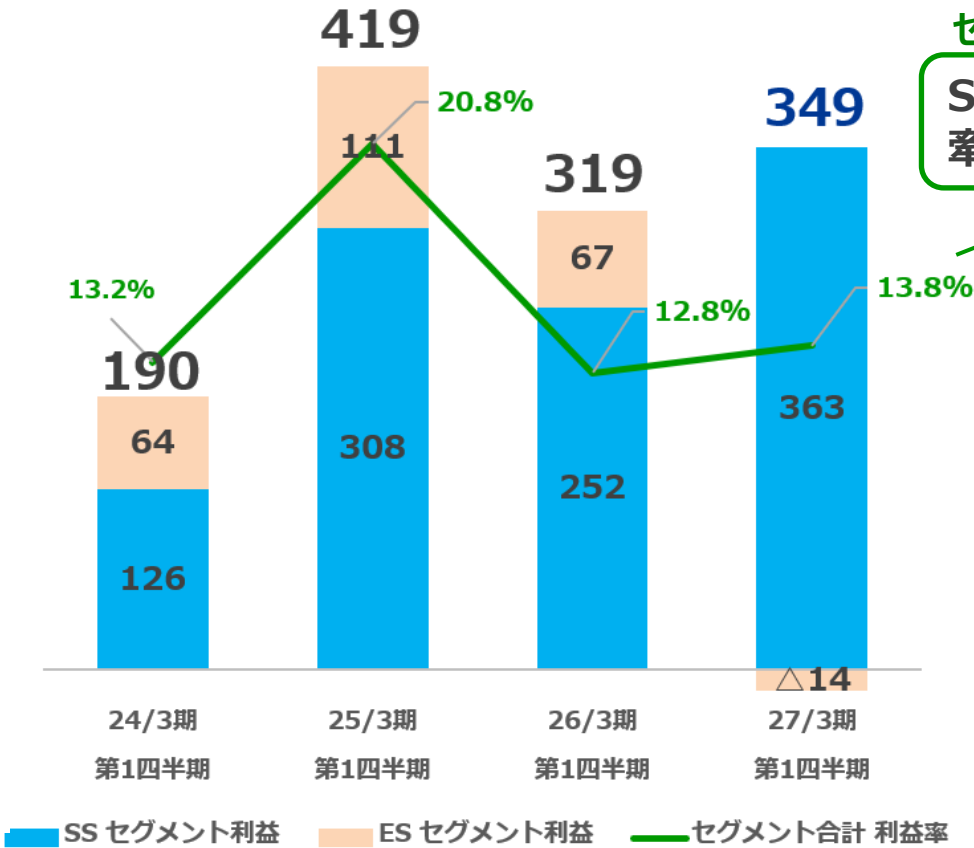
24/3期-27/3期 連結・セグメント別 売上高推移

百万円



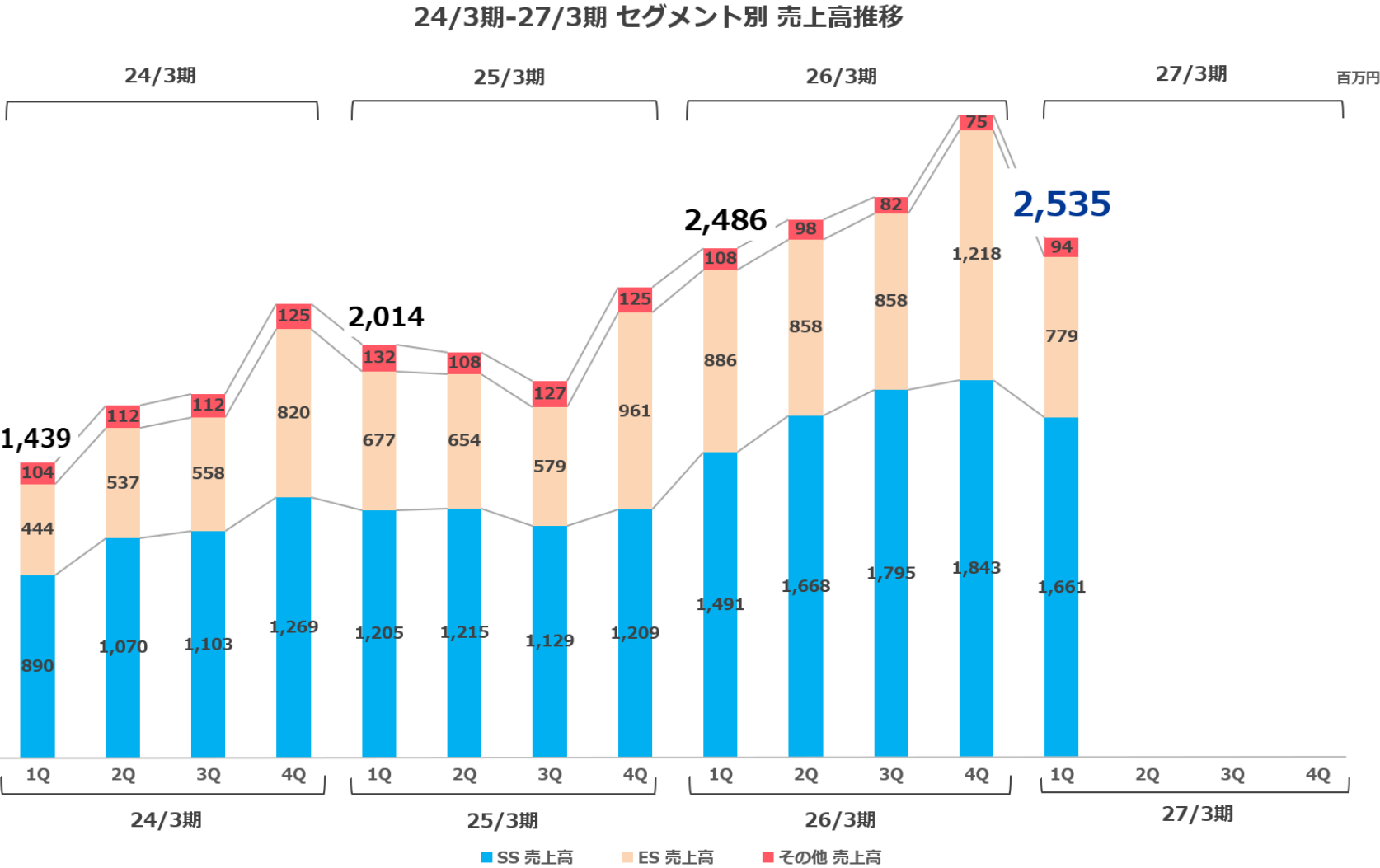
24/3期-27/3期 連結・セグメント別 利益推移

百万円



※2027年3月期第1四半期から、GPS事業を調整額と合算し「その他」に変更するセグメント変更に伴い、組換え後の金額に更新しております。
※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

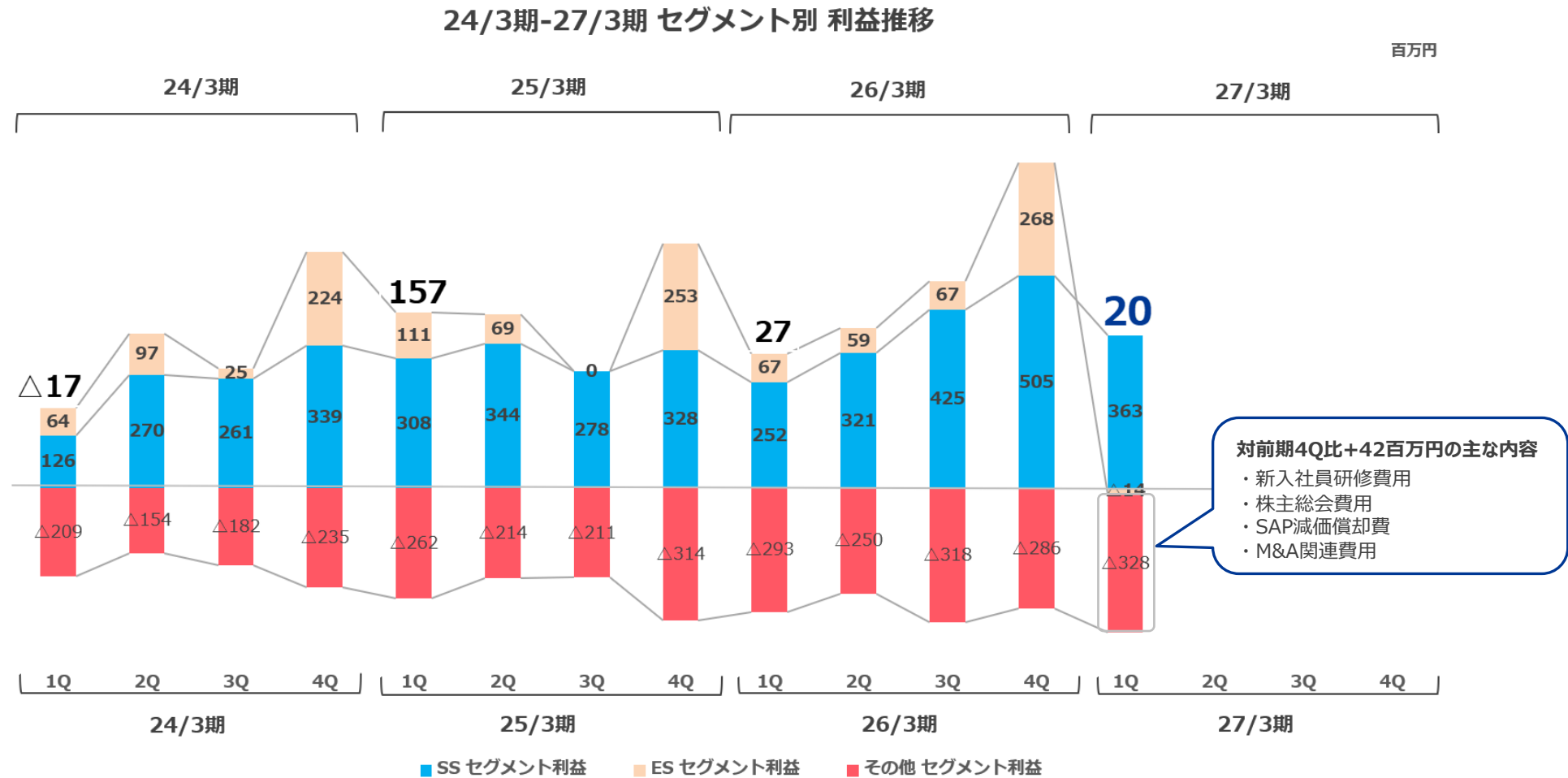
2024年3月期～2027年3月期 セグメント別 四半期売上高推移



※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※2027年3月期第1四半期から、GPS事業を調整額と合算し「その他」に変更するセグメント変更に伴い、組換え後の金額に更新しております。

2024年3月期～2027年3月期 セグメント別 四半期セグメント利益推移



※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※2027年3月期第1四半期から、GPS事業を調整額と合算し「その他」に変更するセグメント変更に伴い、組換え後の金額に更新しております。

※暫定処理をしていたモアソソジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2024年3月期～2027年3月期 セグメント別 四半期データ

(百万円)		2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期					2027年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結	売上高	1,439	1,720	1,774	2,214	7,147	2,014	1,978	1,835	2,295	8,124	2,486	2,623	2,736	3,136	10,983	2,535				
	営業損益	△17	214	105	328	629	157	200	67	267	693	27	129	175	488	820	20				
	利益率	△1.2%	12.4%	5.9%	14.8%	8.8%	7.8%	10.1%	3.6%	11.7%	8.5%	1.1%	5.0%	6.4%	15.6%	7.5%	0.8%				
SS	売上高	890	1,070	1,103	1,269	4,334	1,205	1,215	1,129	1,209	4,759	1,491	1,668	1,795	1,843	6,798	1,661				
	利益	126	270	261	339	998	308	344	278	328	1,259	252	321	425	505	1,504	363				
	利益率	14.3%	25.2%	23.7%	26.7%	23.0%	25.6%	28.3%	24.6%	27.1%	26.5%	16.9%	19.2%	23.7%	27.4%	22.1%	21.9%				
ES	売上高	444	537	558	820	2,360	677	654	579	961	2,871	886	858	858	1,218	3,821	779				
	利益	64	97	25	224	411	111	69	0	253	434	67	59	67	268	462	△14				
	利益率	14.4%	18.2%	4.6%	27.4%	17.4%	16.4%	10.7%	0.1%	26.3%	15.1%	7.6%	6.9%	7.8%	22.1%	12.1%	△1.9%				
その他	売上高	104	112	111	125	453	132	108	127	125	493	107	97	82	74	362	94				
	利益	△209	△154	△182	△235	△780	△261	△213	△211	△313	△1,000	△292	△250	△317	△285	△1,146	△328				

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※2027年3月期第1四半期から、GPS事業を調整額と合算し「その他」に変更するセグメント変更に伴い、組換え後の金額に更新しております。

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2027年3月期 第1四半期 セグメント別の状況

SS (システムソリューション) 事業

売上高 前年同期比11.4%増 セグメント利益 前年同期比43.7%増

システム開発の生産調整の影響で減収が懸念されたものの、ゼネテック・モアソンジャパンの両社ともに好調で前年同期と比較し、大幅に増益

前年同期比 +110百万円
43.7%増

- ・増収効果
- ・モアソンジャパンの利益率改善
- ・高採算案件受注

- ゼネテック・モアソンジャパンともに高付加価値案件、開発案件増加
- モビリティ・産業機器・防衛関連・デジタル家電が好調

売上高：分野別推移
(百万円)

重点施策のFPGA新規案件獲得好調

売上高
(百万円)

1,661

1,491

1,205

+169
11.4%

25/3期
第1四半期

26/3期
第1四半期

27/3期
第1四半期

27/3期
第1四半期

1,276

384

+132
11.6%

+36
10.6%

26/3期
第1四半期

1,143

347

2025年3月
モアソンジャパン完全子会社化
新規連結効果で増収

+407
51.6%

△121
△25.8%

25/3期
第1四半期

736

469

■ソフトウェア開発

■システム開発

セグメント利益
(百万円)

363

25.6%

セグメント
利益率

+110
43.7%

25/3期
第1四半期

26/3期
第1四半期

27/3期
第1四半期

308

252

21.9%

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

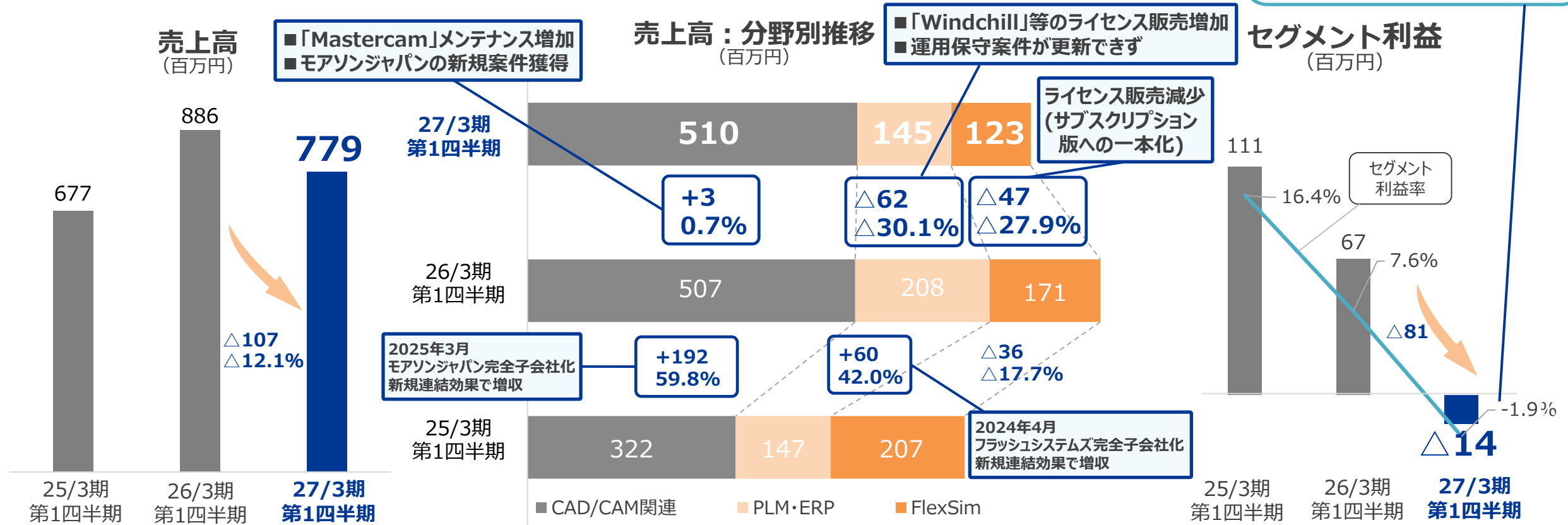
ES (エンジニアリングソリューション) 事業

売上高 前年同期比12.1%減 セグメント損失14百万円

「FlexSim」のサブスクリプション一本化による一時的な減収影響は想定通り、PLM減収影響およびモアソンジャパンのCAD/CAM関連が固定費を吸収できるほどの売上に至らず、前年同期と比較し、減益

前年同期比 △14百万円

- ・減収影響
- ・モアソンジャパンが固定費吸収できず
- ・稼働率低下



※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

財政状態・業績予想・株主還元

連結貸借対照表 前期末比較

(百万円)		2026年3月期 期末	2027年3月期 第1四半期期末	増減	増減の 主な理由
資産の部	流動資産	4,490	3,884	△606	売掛金△755
	固定資産	2,421	2,386	△35	のれん償却費△33
合計		6,912	6,270	△641	
負債の部	流動負債	3,017	2,742	△274	短期借入金△200 未払法人税等△128
	固定負債	1,167	958	△209	退職給付引当金△285 長期未払金+144
合計		4,185	3,700	△484	
純資産の部	資本金	388	388	—	
	資本剰余金	528	529	+1	
	利益剰余金	1,811	1,654	△157	配当金支払による利益剰余金△161
合計		2,726	2,570	△156	
負債・純資産合計		6,912	6,270	△641	

※ 暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2027年3月期 業績予想

2026年5月15日開示の業績予想からの修正はありません。
今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

金額単位：百万円

	2026年3月期			2027年3月期								
	上期	下期	通期	上期予想	前期比		下期予想	前期比		通期予想	前期比	
売上高	5,110	5,872	10,983	5,470	359	7.0%	6,030	157	2.7%	11,500	516	4.7%
営業利益	157	663	820	80	△77	△49.1%	620	△43	△6.5%	700	△120	△14.7%
営業利益率	3.1%	11.3%	7.5%	1.5%	△1.6p	-	10.3%	△1.0p	-	6.1%	△1.4p	-
経常利益	163	660	824	65	△98	△60.1%	594	△66	△10.1%	659	△165	△20.0%
経常利益率	3.2%	11.3%	7.5%	1.2%	△2.0p	-	9.9%	△1.4p	-	5.7%	△1.8p	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	416	510	30	△63	△67.9%	334	△81	△19.5%	365	△145	△28.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	1.8%	7.1%	4.6%	0.6%	△1.3p	-	5.6%	△1.5p	-	3.2%	△1.5p	-

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期上期・下期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2027年3月期 株主還元

2026年5月15日開示の配当予想からの修正はありません

株主還元方針

- 株主の皆様への利益還元が経営上の最重要課題のひとつ
- 事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、財務の安定性と資本効率のバランスを重視し、持続的な成長に向けた投資とのバランスを図る
- 中間配当および期末配当の年2回の配当を実施
- 連結配当性向40%を目安

	配 当		
	中間配当	期末配当	合計
2026年 3 月期	8.00円	14.00円	22.00円
2027年3月期（予想）	5.00円	7.50円	12.50円

トピックス

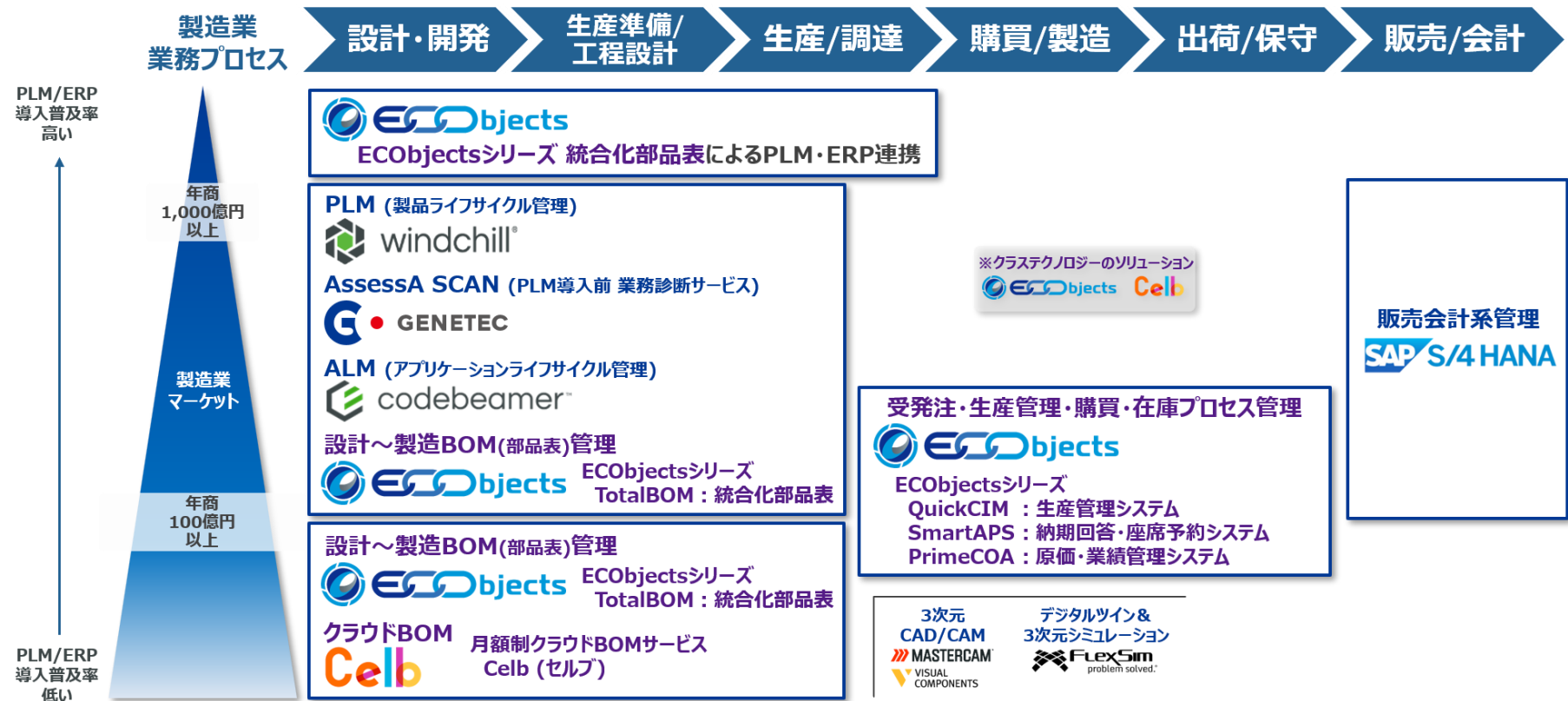
中期経営計画の達成に向けたM&A

当社は、2026年7月30日に、自社開発の統合化部品表・リアルタイム生産管理ソリューションを提供する
株式会社クラステクノロジーの株式取得(子会社化)

を発表しました。(詳細は7月30日適時開示の「株式会社クラステクノロジーの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」をご覧ください)

当社ES事業(主にPLM・ERP関連)との早期シナジー発揮に向け、取り組んでまいります。

想定シナジー：製造業向けソリューション拡充と業務プロセスの一貫提供
新中期経営計画「**トータルソリューションパートナーへの進化**」





ココダヨ

: 衛星ースmartフォン直接通信に対応



ココダヨ Life : GPSソリューションの海外展開を本格化



ココダヨ

災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』

国内主要キャリア3社の**Starlink Direct**に対応

ココダヨができること

防災アプリで、家族の居場所を確認できるのは「ココダヨ」だけです。
防災・見守りアプリ『ココダヨ』は災害警報に連動して
自動でグループメンバーの位置情報を共有し、安否確認をサポートします。
※2 他社の安否確認サービスは一度メールで安否を確認する形式です。



即自動通知



グループ内共有



安否確認機能



au、docomo、SoftBankの国内主要キャリア3社のStarlink Directに対応し、『ココダヨ』ユーザーの皆様が通信圏外での防災・安否確認手段として利用できる環境が整いました。



ココダヨ Life

防災・防犯・見守り・多言語対応『ココダヨ Life』

世界**174**の国と地域に配信拡大

訪日外国人が日本で『ココダヨ Life』をダウンロード(注)し、利用することが可能になりました。

日本への旅行時に自国にいる家族などの異変にいち早く気づくことが可能になり、海外旅行時の**安心にもつながります。**

(注) 本機能追加前は、ストアの国・地域設定が日本または台湾の場合にのみダウンロードが可能。



スマートウォッチと連携した転倒検知アラート、活動低下アラート、新たな防災気象情報の通知画面のイメージです。

News Release (2026年4月1日-6月30日) -1-

日付	分類	タイトル
2026年4月27日	PR情報	災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』、衛星-スマートフォン直接通信「docomo Starlink Direct」に対応
2026年5月14日	PR情報	「Mastercam」連携の新製品「3D Drill-iCAD SX Hole Link」提供開始
2026年5月15日	適時開示	報告セグメントの一部変更に関するお知らせ
2026年5月15日	適時開示	剰余金の配当（増配）および配当方針の変更に関するお知らせ
2026年5月15日	適時開示	「中期経営計画 2026-2028」策定に関するお知らせ
2026年5月15日	適時開示	2026年3月期 決算説明資料
2026年5月15日	決算	2026年3月期 決算短信[日本基準]（連結）
2026年5月18日	PR情報	2026年3月期決算および中期経営計画2026-2028説明動画公開のお知らせ
2026年5月29日	株主総会	第41期定時株主総会招集ご通知
2026年5月29日	株主総会	第41期定時株主総会招集に際しての電子提供措置事項

News Release (2026年4月1日-6月30日) -2-

日付	分類	タイトル
2026年6月9日	PR情報	「FlexSim」年間販売数量3年連続世界1位を獲得
2026年6月11日	PR情報	災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』、衛星-スマートフォン直接通信「SoftBank Starlink Direct」に対応
2026年6月11日	適時開示	独立役員届出書
2026年6月25日	有報	有価証券報告書-第41期(2025/04/01-2026/03/31)
2026年6月25日	有報	内部統制報告書-第41期(2025/04/01-2026/03/31)
2026年6月26日	適時開示	役員人事に関するお知らせ
2026年6月29日	IR資料	コーポレート・ガバナンスに関する報告書 2026/06/29
2026年6月29日	有報	臨時報告書

当社事業のご紹介

社会的課題の解決への挑戦と実現

技術・開発力に裏打ちされたソリューションで、社会的課題の解決へ挑戦し続けます

実現すること

日本のものづくりの復活・脱炭素の実現

安心・安全な暮らしの実現

生み出す
効果

品質向上

付加価値向上

生産性向上

安全性向上

もたらす
革新

デジタル化社会
を支える
高難度な装置開発

モビリティ変革
を支える
自動車の高性能化

AV/エレクトロニクス機器
の高機能化

製品情報
の一元管理

高性能な製品の
設計・製造

設備全体の
モニタリング

経営情報
の一元管理

作業者の
安全管理

製造・物流現場の
最適化

物流の
リアルタイム追跡

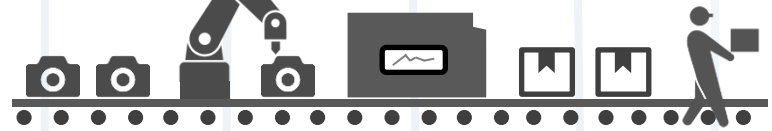
サービス施設の
最適化

災害時位置情報
の自動通知

取組む
DX領域



製品開発



製造／物流



暮らし・個人

当社が持つ
ソリューション

半導体製造装置
開発

自動車関連
開発

AV/エレクトロニクス
開発

PLM



3D
CAD/CAM
MASTERCAM
VISUAL
COMPONENTS

IoT



ERP



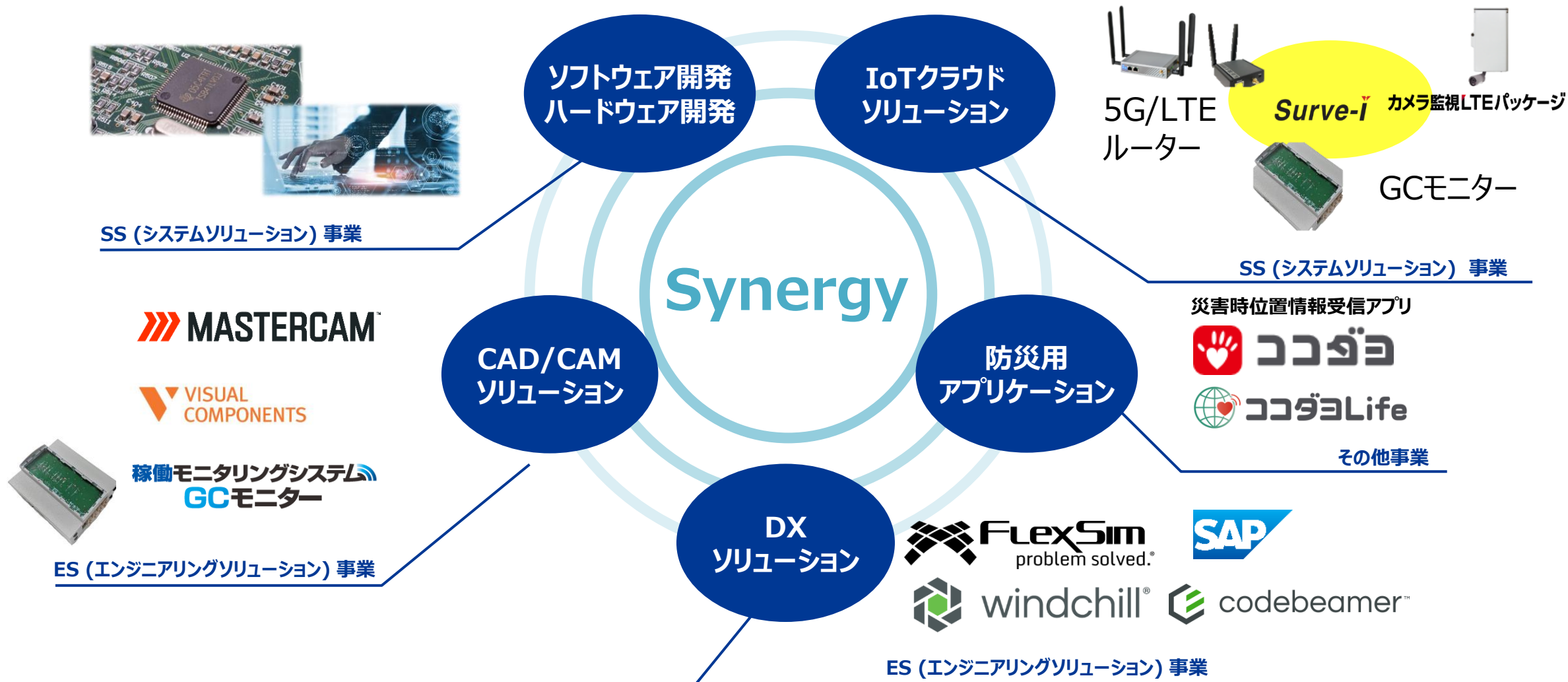
デジタルツイン&
3Dシミュレーション
FlexSim
problem solved.

位置情報
サービス
ココロ
ココロLife

ソフトウェア開発×ハードウェア開発×AI

当社の事業

卓越した技術力でお客様のソリューション・パートナーを目指します。



会社概要

会社概要

会社名	株式会社ゼネテック		
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー25F		
代表者	代表取締役社長 上野 憲二		
設立日	1985年7月1日		
決算月	3月		
資本金	3億8,891万円（2026年3月31日現在）		
役員	代表取締役社長	社 長 執 行 役 員	上 野 憲 二
	取 締 役	副社長執行役員	鈴 木 章 浩
	取 締 役	専 務 執 行 役 員	末 永 司
	取 締 役	常 務 執 行 役 員	上 野 大 輔
	取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	八 戸 雅 利
	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	田 中 俊 平
	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	水 谷 翠
従業員数(連結)	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	白 上 博 能
	684名（2026年4月1日現在）		

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
子会社	株式会社モアソンジャパン
拠点	本社・新宿事業所・新横浜事業所・名古屋事業所・ 大阪事業所・広島事業所・福岡事業所
事業内容	■システムソリューション事業 ソフトウェア開発、ハードウェア開発 ■エンジニアリングソリューション事業 CAD/CAM関連 3Dシミュレーションソフト 製品ライフサイクルマネジメントソフト等販売・ ソリューション提供 ERP導入支援 ■その他事業 防災用アプリケーション開発提供
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場

当社グループの拠点



サステナビリティ(ESG/SDGs)

事業を通じた社会貢献



寄与項目

当社事業・商材

E 環境

環境保護と持続可能な産業の発展

地球環境を守りながら持続可能な産業の発展を支える取組みを推進。

特に、製造業と物流のデジタル化を推進し、エネルギー効率を高め、CO2排出量の削減に貢献。

■ デジタルツイン技術

デジタルツイン技術を製造業や物流倉庫に導入し、生産性向上とコスト削減を実現。シミュレーションによる最適化を通じて、エネルギー効率を高め、CO2排出量を削減しています。

■ 企業価値の最大化と環境への配慮

国内におけるCO2総排出量の35%を占める製造業。当社はデジタルソリューションにより、これら製造業における環境負荷の低減を図りつつ、企業価値の最大化に貢献します。



など



S 社会

人々の生活の質向上と安全を守る

社会的な責任を果たすために、安全で豊かな社会の実現に向けた取組みを進めています。特に、災害時の安全確保や、若手技術者の育成を通じて、社会貢献を果たしています。

■ 災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』・『ココダヨ Life』

災害時や見まもり時の安否確認をサポートするアプリ『ココダヨ』を提供。緊急地震速報と連動し、家族や大切な人の位置情報を自動通知する機能を持つこのアプリは、社会的安心を提供しています。



企業活動を通じた社会貢献



当社施策

S 社会

教育・研修制度

幅広い研修制度で、エンジニアの技術習得をバックアップ。エンジニアの成長を通じて、社会の発展に寄与。

女性活躍の推進

女性をはじめ多様な人材が能力を発揮できる職場環境の実現に向けて、女性の採用・定着・キャリア形成を支援する取組みを推進。女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」(3段階目・3つ星)を取得。

働きやすい職場環境の整備

育児・介護休業制度の周知や復職支援、雇用形態の転換制度など、社員一人ひとりがライフステージに応じて安心して働き続けられる制度の整備・運用。



G ガバナンス

透明で公正な企業運営

コーポレート・ガバナンスの維持・強化を通じて、株主、顧客、社員をはじめとするステークホルダーの皆様に対し、経営の健全性、透明性、遵法性と公平さを確保し、企業価値のいっそうの増大に努める。



当社の行動指針

Change — 変革 —

Challenge — 挑戦 —

Continue — 継続 —

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にもかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

お問合せ先 : IR@genetec.co.jp

